

大豆作における難防除雑草と防除対策

近年、県内各地の大豆ほ場で防除が困難な雑草の発生が見られています。中でも毒性雑草であるイヌホウズキや、大豆に絡みついて収穫作業に支障をきたす帰化アサガオ類の増加が目立ちます。こうした雑草は、ノビエやタデ類などを対象とした通常の防除対応では除草効果が低いため、草種毎に独自の対策が必要です。なお、最善の対策は、ほ場に侵入させないことなので、これまで発生しなかったほ場でこうした雑草を見かけた場合は、直ちにほ場やほ場周辺から持ち出して、確実に処分して下さい。

1 草種別の防除対策

(1) イヌホウズキ類 (ナス科 1 年生雑草、有毒植物)

ア 主な特徴

- ・生育期間：4～10月、草高：20～90cm、花期：8～9月。花は白色、果実は球形で水分を多く含み、熟すと黒色になる。
- ・中耕・培土後も発生し、大豆の収穫期頃も生育旺盛。
- ・果実（液果）は汚損粒の原因となる。なお、全草に毒性があるためイヌホウズキによる赤紫色の汚損粒が混入した大豆は農産物検査の対象外となる（ヨウシュヤマゴボウによる赤紫色の汚損粒も同様）。

イ 防除対策

- ・除草効果の高い剤を使用する。
- ・は種後大豆出芽前：土壌処理剤は、ジメテナミドを含む除草剤（エコトップ乳剤など）、アクラロールを含む除草剤（ラクサー乳剤など）の効果が高い。
- ・生育期：茎葉処理剤で全面散布できる大豆バサグラン液剤は除草効果が低く、茎葉兼土壌処理剤で畦間・株間処理するロロックスの効果が高い。生育後半の発生は、非選択性茎葉処理剤のバスタ液剤やラウンドアップマックスロードなどで対応する。



図1 イヌホウズキ（左：大豆収穫期頃、成熟した液果）

(2) 帰化アサガオ類 (ヒルガオ科 1 年生雑草)

ア 主な特徴

- ・ 県内の大豆ほ場では、マルバルコウ、ホシアサガオ、マメアサガオが発生していると見られる。他の主要なアサガオ類には、マルバアメリカアサガオ、マルバアサガオがある。
- ・ 生育期間：4～10月（だらだら発生が続く）、全長：最大 300cm。3ヶ月程度で結実し、株当たり数千から数万粒の種子を生産する。硬実種子で、種子の寿命は長く、水田にしても発芽能力を失わない。出芽後2～4週間でする化して大豆にからみつき、その後覆いかぶさる。
- ・ 種子が大きく、深い位置からも発生するので土壌処理剤の効果は総じて低い。



図2 アサガオ類 (県内での発生事例)

左上：群生している状態

中上：深い位置からも発生（土壌処理剤の効果不十分）

右上：つる化始まり（6月末、草高 25cm、本葉 6 枚）

右下：大豆の草冠を超え絡みついた状態（8月下旬）

中下：アサガオ類の多発生により大豆の収穫を断念したほ場（10月）

左下：前年の残渣、おびただしい数の種子（4月）



図3 アサガオ類（花、葉の様子）

左：マルバルコウ、右：マメアサガオ（花は白色の他、稀にピンク色の個体もある）
 写真は「帰化アサガオまん延防止技術マニュアル 大豆畑における帰化アサガオ類の
 防除技術 Ver.1」農研機構 中央農業総合研究センター発行より一部加工して転載

イ 防除対策

- ・は種後大豆出芽前：土壌処理剤はプロメトリンを含む除草剤（サターンバアロ乳剤、サターンバアロ粒剤など）で一定の効果がある。
- ・生育期：アサガオ類2葉期に大豆バサグラン液剤を散布（大豆2葉期以降）する。但し、マメアサガオに対しては効果が劣る。その後2週間間隔で、中耕培土又は、バスタ液剤による畦間・株間処理（大豆5葉期以降）で対応する。いずれもアサガオがつる化する前に行う（つる化して大豆に絡みつくと手に負えなくなる）。防除は大豆の草高が条間の幅と同じになる頃（畦幅75cmでは種後50～60日）まで続ける（大豆が繁茂することで光を遮り、アサガオの生育は大幅に抑制される。）。
- ・手取りする場合は、必ず地際から刈り取るか引き抜いて再生を防ぐ。

2 侵入防止・被害拡大防止対策

イヌホウズキ、アサガオ類はほ場周辺部（農道・畦畔）からほ場に侵入する場合もあるので、ほ場周辺部の発生にも注意して、見つけた場合は、直ちに抜き取って下さい。なお、抜き取った株は、放置せずにはほ場やほ場周辺から持ち出して、増殖しないよう確実に処分して下さい。

また、未熟な堆肥には雑草種子が混入している恐れがあるため、完熟堆肥を使うことや、管理作業の順番を未発生ほ場、発生ほ場の順で行



図4 畦畔に発生したアサガオ類

うことも侵入防止・被害拡大防止の効果が期待できます。

※本文に記載された農薬は、平成 26 年 6 月 11 日現在の農薬登録情報を基に作成しています。農薬の使用に際しては、必ず最新の登録内容を確認して使用してください。

<参考資料>

- ・ 帰化アサガオまん延防止技術マニュアル大豆畑における帰化アサガオ類の防除技術 Ver. 1
農研機構 中央農業総合研究センター
http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/046256.html
- ・ 難防除雑草に対する最新の防除技術について
農研機構 中央農業総合研究センター 澁谷知子氏

【経営普及課農業革新支援担当 岩津 雅和】